

## 2022年度 研究、教育、社会・学会活動報告書

### 1. 研究（本年度のみ）

ふりがな	たかはし かずし	職 位	准教授	学 位	博士 (経済学)
教員氏名	高橋 和志				
アルファベット表記	Takahashi Kazushi				
専門分野		経営学全般（主に組織論、戦略論） 地域社会論			
研究課題	テーマ	① 制度・環境解釈について ②地域社会における社会関係資本			
	概要	① 構造主義の視点では、人間の行為や認識は、社会構造や歴史的に蓄積された制度に規定されているとみなされる。しかしながら、構造や環境、制度は諸個人の行為を通じて認知され、それらの多義性は一義化され保持され则认为。Weick.K の組織化の進化モデルを参考にした制度変化に関する理論的研究。 ② 信頼や規範に基づく社会ネットワークの厚みを擬制的な資本とする新しい資本概念である社会関係資本の蓄積が、地域経済・地域社会の活性化に及ぼす影響についての考察。			
本年度 研究業績	研究費	総額：180,000円 内訳：個人研究費 180,000円円 / 科学研究費 円 そ の 他 円			
	研究テーマ	組織の持続性と進化について			
	経過と到達点	代表的な組織モデルの一つである自然体系システムを用いた組織の存続と進化に関する論稿を、京都経済短期大学30周年記念誌『持続可能な社会に向けて』に投稿。			

### (1) 学術論文

	論文等の名称	発行年月 (西暦)	単・共著 の別	発表雑誌等	概要
①英文査読論文					
②和文査読論文					
③英文論文					
④和文論文					
⑤紀要論文					
⑥紀要研究ノート、専門誌記事等					

⑦学会での 口頭発表、討 論者(ディス カッサント)	セルフヘルプグル ープのマネジメン ト	本年度 9月	単独	経営・情報学会(学 内学会)	地域社会を支える集団として 注目されている、自助団体・当 事者集団のマネジメントのあ り方について考察。
-------------------------------------	---------------------------	-----------	----	-------------------	---

## (2) 著書

	著書名	発行年月 (西暦)	発行所等の名称	概要
⑧共著書・ 共訳書	「組織の均衡、存続、 進化」(2023)『持続可 能な社会に向けて』晃 洋書房 所収	2023年 2月	晃洋書房	代表的な組織モデルの一つである 自然体系システム(人間関係論、組 織均衡論、制度理論、組織化の進化 モデル)を用いた組織の存続と進化 に関する論稿
⑨単著書・ 単訳書				

## (3) 外部研究資金獲得(競争的資金獲得)

	研究テーマ (代表研究者名)	期間年月 (西暦)	研究項目の名称 (文科省科研費等)	概要
⑩共同研究 (研究代表)				
⑪単独研究				
⑫共同研究 (分担研究)				
⑬科学研究 助成事業(日 本学術振興 会)申請				

## 2. 教 育 (本年度のみ)

		前 期	後 期
		科目名	科目名
担当科目	講義	経営組織論 経営戦略論 編入対策特講Ⅱ	地域産業論 編入対策特講Ⅰ
	演習	基礎ゼミナール ゼミナールⅠ	ゼミナールⅠ ゼミナールⅢ
	実習		

教育内容・方法 の工夫	◆ 講義科目 講義終了後・オフィスアワー時に随時質問を受け付けた。 一般編入試験の過去問、面接の指導
	◆ 演習科目 専門書の輪読の際に、事例を紹介しながら、経営学および地域社会学の初歩を詳しく説明。
	実習科目
	◆ その他（教科書・教材等の作成を含む。）

## (1) 課外活動

①研修旅行 海外	
②研修旅行 国内	

## 3. 社会・学会活動（本年度のみ）

## (1) 公的委員会

分 類	活動・講演の概要
①委員長・座長 国・国際機関	
②委員長・座長 上記以外	
③委員・アドバイザー 国・国際機関	
④委員・アドバイザー 上記以外	株式会社 ZTV 番組審議委員

## (2) 学術団体の理事（日本学術会議協力学術研究団体）

分 類	活動・講演の概要
⑤理事長・会長	
⑥理事	

## (3) 講演会

分 類	活動・講演の概要
⑦講演者・登壇者・学会座長	

## 4. 特記事項（本年度のみ）

ゼミ活動として地域イベント（洛西けやき通り コロナノムコウ展）の設営・運営に協力
--